

Title	はじめに, 沿革, 組織図, 構成員, 各センターの業務内容
Author(s)	
Citation	国立大学法人北陸先端科学技術大学院大学技術サービス部業務報告集 : 平成23年度: 1-5
Issue Date	2012-08
Type	Others
Text version	publisher
URL	http://hdl.handle.net/10119/10795
Rights	
Description	

はじめに

本学は、理工系大学院生への高度な教育を支える先端的な研究を可能とする質・量ともに極めて充実した設備投資がなされている大学です。最近、これらの設備投資をフル活用し、効率的な教育・研究を遂行することが社会的にますます求められています。その意味で、膨大なインフラ諸設備の維持・更新を担当して教育・研究を実務的に補佐する技術職員集団の果たす役割は年々大きくなっています。

本学では、

1) 技術職員及びその所属するセンター等が果たす様々な技術サービス業務（講習会開催、装置利用支援、依頼測定、情報システム維持・管理、安全教育等）の内容と意義を周知し、教員・学生との意思疎通をより深めるために、また、
2) 学内教職員に留まらず、装置開放を含む技術サービス業務に関心をお持ちの学外・地域の方々に、できる限り本学の技術サービス部の中身を知っていただくこと
を目的に、毎年業務報告会を開催し、また業務報告集を刊行しています。

本報告集は、「情報系・マテリアル系技術職員業務報告会」（平成24 年6 月27日開催）における諸報告を含む技術職員全員からの（年間）業務報告、出張報告等から構成され、本学の技術職員が、教育・研究支援に携わる日常活動の中で得た成果等をまとめたものです。

一昨年度に続きまだ4 号目で、行き届かない点多々あるかと思いますが、本号の内容に関し是非忌憚のないご意見・ご指導等を頂戴できれば幸いです。

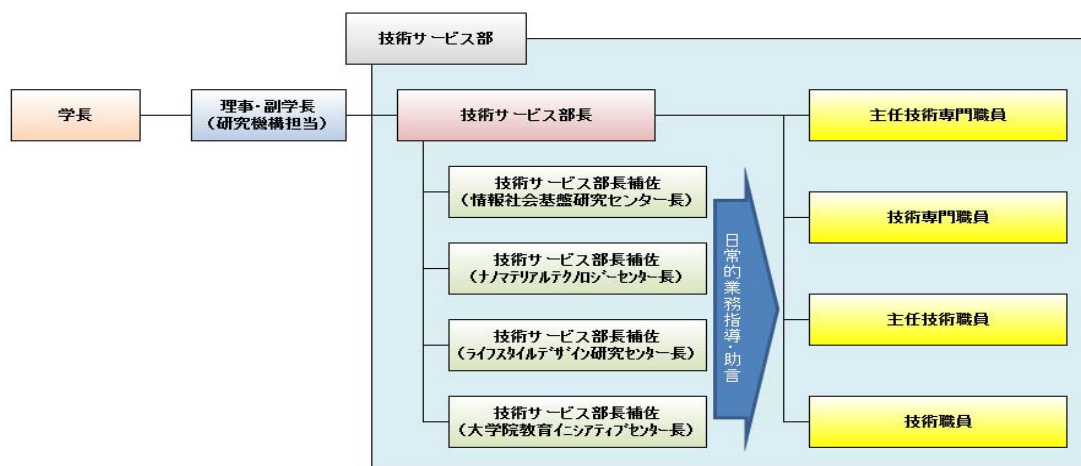
また、技術サービス部長、各センター長、並びに技術職員一同、今後も技術サービス業務の活性化に向け様々な施策・計画・提案を考え、その実現を目指しています。本学技術サービス部に関心をお持ちのすべての方々に、今後とも継続的なご支援を宜しくお願い申し上げます。

技術サービス部長 山田省二

1 沿革

平成 2 年 1 0 月	北陸先端科学技術大学院大学 開学 情報科学研究科 設置
平成 3 年	材料科学研究科、情報科学センター 設置
平成 4 年	新素材センター 設置
平成 7 年 4 月	研究協力部研究協力課 研究企画係 技術室 発足
平成 8 年	知識科学研究科 設置
平成 1 0 年	知識科学教育研究センター 設置
平成 1 3 年	遠隔教育研究センター 設置
平成 1 4 年	ナノマテリアルテクノロジーセンター 設置 (新素材センターを改組)
平成 1 7 年 4 月	技術室 設置 (技術室長による運営開始。事務局から独立。)
7 月	技術サービス部と改称 現在に至る
平成 1 8 年	マテリアルサイエンス研究科 設置 (材料科学研究科を名称変更)
平成 2 3 年 4 月	情報社会基盤研究センター 設置 (情報科学センターを改組) ライフスタイルデザイン研究センター 設置 (知識科学教育研究センターを改組)
3 月	遠隔教育研究センター 廃止 (大学院教育イニシアティブセンターへ業務移管)

2 組織図(平成 24 年 4 月現在)



3 構成員(平成 24 年 8 月現在)

部長		山田 省二
部長補佐（４名）	情報社会基盤研究センター長	金子 峰雄
	ナノマテリアルテクノロジーセンター長	山田 省二
	ライフスタイルデザイン研究センター長	西本 一志
	大学院教育イニシアティブセンター長	浅野 哲夫
情報社会基盤研究センター（９名）	主任技術専門職員	木戸 孝一
	技術専門職員	中野 裕晶
	技術専門職員	小坂 秀一
	技術専門職員	上埜 元嗣
	主任技術職員	岡本 忠男
	主任技術職員	間藤 真人
	主任技術職員	須藤 千恵
	技術職員	二ツ寺 政友
	技術職員	宮下 夏苗
ナノマテリアルテクノロジーセンター （８名）	技術専門職員	東嶺 孝一
	技術専門職員	能登屋 治
	技術専門職員	木村 一郎
	技術専門職員	宇野 宗則
	主任技術職員	伊藤 暢晃
	技術職員	宮里 朗夫
	技術職員	村上 達也
	技術職員	仲林 裕司
ライフスタイルデザイン研究センター （１名）	主任技術職員	福島 清信
大学院教育イニシアティブセンター（２名）	主任技術職員	辻 誠樹
	主任技術職員	但馬 陽一

4 各センターの業務内容

センター	業務内容
情報社会基盤研究センター	情報社会基盤研究センターは、先端科学技術分野に関するあらゆる教育・研究ニーズに対応するため、超高速ネットワークを利用した高性能で大規模なデータストレージサービスと超並列計算機群によるコンピューテーションサービスを提供し、インテリジェント・キャンパスの基盤となる、等質かつ高レベルな情報サービスを提供する、世界でも有数の大規模情報環境を構築・集中管理しています。
ナノマテリアルテクノロジーセンター	ナノマテリアルテクノロジーセンターは、ナノメートル（100 万分の 1 ミリメートル）の世界で起こる現象の理解とナノサイズの計測、加工、デバイス技術、すなわちナノテクノロジーを推進するためのセンターです。マテリアルサイエンス研究科を中心とする学内組織と協力し、ナノテクノロジー分野における研究、教育を支援するとともに、この分野の研究の先導的役割を果たします。
ライフスタイルデザイン研究センター	ライフスタイルデザイン研究センターは、人々が持つ潜在的な能力の発見と発揮を支援するシステムの研究開発を推進し、これを活用して誰もが積極的に社会貢献できる「生きがいのある暮らし」をデザインします。
大学院教育イニシアティブセンター	大学院教育イニシアティブセンターは、先進的な大学院教育のあり方を研究し、国内外の大学院との緊密な連携を図りながら、客観的基準で評価した目標達成度によって修了学生の質を保証する大学院教育・研究指導方法を確立します。

5 業務報告

本学技術サービス部では、関連する教員だけでなく、日頃技術職員と協力して業務を遂行する機会の多い若手研究員及び学生を含む学内の多くの方に技術職員の業務についての理解を深めていただくため、下記のとおり情報系技術職員及びマテリアル系技術職員による平成23年度分の業務報告会を開催しました。

技術職員業務報告会

日時：平成24年6月27日（水） 13：20～17：05

場所：知識科学研究科講義棟 中講義室

発表者（発表順）	発表内容
二ツ寺 政友 （情報社会基盤研究センター担当）	Clonezilla を用いたPC複製
岡本 忠男 （情報社会基盤研究センター担当）	ネットワーク接続申請システムの導入
木戸 孝一 （情報社会基盤研究センター担当）	学内外イベントへの対応について
宮里 朗夫 （ナノマテリアルテクノロジーセンター担当）	質量分析装置の保守管理及び依頼測定について
木村 一郎 （ナノマテリアルテクノロジーセンター担当）	ヘリウム液化業務について
仲林 裕司 （ナノマテリアルテクノロジーセンター担当）	依頼工作、講習、工作機械維持管理 他
但馬 陽一 （大学院教育インシアティブセンター担当）	富士通寄付講座『思考の可視化』キックオフ講演会の報告